

熱中症対策について

- ・シニア連盟の熱中症対策を下記のとおりとします。(公財)日本サッカー協会及び(公財)東京都サッカー協会の指針を遵守し、熱中症による事故を未然に防止することを目的とします。
- ・シニア連盟はリーグ戦および各種大会の開催可否について、暑さ指数(WBGT)や試合会場の状況を勘案し、試合日の2日前または試合当日に可否の判断を行い、中止の場合は連絡をします。

《開催中止の場合の連絡方法》

- リーグ戦：【2日前に決定した場合】連盟事務局⇒連盟リーグ統括⇒各リーグ幹事長⇒各リーグ当該チーム(派遣審判員への連絡は各リーグの担当から行う。)
【試合当日に決定した場合】当日の本部運営担当チーム⇒当該チームおよび派遣審判員
- 大会等：連盟事務局⇒各大会等参加チームおよび派遣審判員

《開催可否の判断について》

- ・原則、暑さ指数(WBGT)が31℃(人工芝は28℃)以上では、特別の場合以外は、試合を中止とします。特別の場合とは、「別紙」【熱中症対策】の(ア)から(コ)の対策が取られている場合とします。

【開催2日前の可否判断】

- ・試合日2日前の環境省の熱中症予防情報サイトが提供している『WBGTの実況と予測』サイトでWBGTを確認し、試合時間帯のWBGTが31℃(人工芝は28℃)を超える予測でかつ試合当日まで同様の状況に変化がないと予想される場合にはその試合を中止とする。

(http://www.wbgt.env.go.jp/graph_ref_td.php?region=03&prefecture=44&point=44132)

- ・開催中止の場合は以下の手順により周知徹底を図る。事務局が2日前12時の予測値から中止する場所及び時間帯を決定。(全試合を中止にするのか、危険時間帯の試合のみを中止にするかは事務局とリーグ統括が協議し決定します。)
事務局からリーグ統括および審判部長へメール通知(リーグ統括から確認メールを事務局に返信。)=>リーグ統括から当該リーグ幹事長へメール通知(幹事長から確認メールをリーグ統括に返信。)

【開催当日の可否判断】

- ・試合開始30分前(審判打合せの前)およびハーフタイム時に本部運営担当チームが黒球式熱中症指数計(連盟より各リーグへ配布したもの。)で計測を行う。
- ・WBGTが31℃(人工芝は28℃)以上の場合は「別紙」【熱中症対策】が取れない場合は中止とする。対策が取れる場合は本部運営チームと主審と協議のうえ判断する。
- ・前後半のプレー中に試合を中止・延期はしない。また「中断」は行わない。
- ・中止を決定した試合、以降に続く試合の開催については本部運営担当チームとリーグ統括により協議のうえ判断する。
- ・中止決定後は本部運営担当チームより派遣審判員ならびに以降の当該チームへ連絡を行う。

■ なお、状況は刻々と変化します。熱中症の危険がある場合は躊躇なく中止してください。

《経費等の取扱について》

- ・試合開始前またはハーフタイムでの中止となった試合の派遣審判員には、謝礼と交通費を支給する。
- ・また、リーグ戦の場合は派遣審判員へ謝礼等に加え、副審への謝礼および本部運営費を支給する。
- ・中止を決定した試合、以降の試合の派遣審判員には、会場に到着済みまたは向かっている審判員には交通費を支給する。
(※会場に到着されていない場合は振込で支給する。)
- ・WBGT 数値により会場費の返金が行われる会場以外で返金の取扱いがない会場費は連盟が負担する。
(※当日、窓口等で現金支払いした場合は後日連盟リーグ会計から当該リーグ会計へ振込で支払う。)

以上

2019年8月1日 改正

「別紙」【熱中症対策】

(本部運営側として)

- (ア) ベンチを含む十分なスペースにテント等を設置し、日射を遮る。
※全選手/スタッフが同時に入り、かつ氷や飲料等を置けるスペースを確保する。
- (イ) グランド脇にスポーツドリンクを飲む場所を確保する。
- (ウ) Cooling Break（前後半 3 分程度）または飲水タイム（前後半 1 分程度）が取れる試合スケジュールとする。
試合スケジュールに無理が有る場合には試合時間に含めその時間を確保する。
- (エ) 審判員や本部運営スタッフ用、緊急対応用に、氷・スポーツドリンク・経口補水液を十分に準備する。
- (オ) 各会場に WBGT 計を備える。

上記に加え、WBGT が 28℃を超える場合（人工芝の場合は原則中止）の試合当日の運用では、

- (カ) 試合会場にはクーラーがあるロッカールーム、医務室があることを確認する。
- (キ) 会場に医師、看護師、BLS(一次救命処置)資格保持者（AED 講習受講者）のいずれかの存在を確認しておく。

(チームとして)

- (ク) 氷・スポーツドリンク・経口補水液を十分に準備する。
- (ケ) ベンチにおける日射を遮る帽子（日傘）を準備する。
- (コ) 選手個々人の健康（体調）管理し不調な選手の起用はしない。
体力の低い方、肥満の方、暑さに慣れていない方、熱中症に過去なった方。

以上